

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会	
開催日時	令和4年11月10日(木) 開会：18時30分 閉会：19時15分	
開催場所	商工センター 401研修室	
出席者(委員)氏名	阿久津彰良、溝上俊亮、江黒 徹、河野真也、出雲秀章、前田千穂、川島 治	
欠席者(委員)氏名	堀内 規、豊島拓海、澤田千尋、加藤里美	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ	
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回開催に向けての不足事項について ・第2回開催に向けての検討について ・その他 	
会議資料	(資料名・概要等) <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第1回ふらっと研修会(人生ファイル)について(10/29版) ・令和4年度第1回ふらっと研修会(人生ファイル)について(整理版) ・令和4年度第2回ふらっと研修会(人生ファイル)について(初回検討) ・ふらっと部会議題(R4.11.10) 	
その他必要事項		
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名
	R4 年 12 月 8 日	阿久津彰良 溝上俊亮

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
各委員	<p>[開会] 18:30</p> <p>① 前回の部会の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインはグループワーク ・4つの課題があるが、課題は削れない <p>課題①と③はすばやくすすめ、課題②を重点的にやりたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイの事例は「ふら平」とする。 <p>（事例）妻が軽度認知症との設定を追加する。</p> <p style="padding-left: 40px;">家族の援助があまり期待できない（盆と正月くるくらい）と設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターは、経験のある機能強化型包括、包括、在宅医療・介護連携支援センターに担ってもらおう。 ・ICTのメンバーは、参加者となるが、羅針盤的（方向づけ）な役割をお願いしたい。 ・ファシリテーターの事前練習は、11月下旬に行いたい、日程については、後日決定する。 ・事前練習前に台本を作成する。 ・グループワークでは、発表者を決める。決める際には時間をかけない。ファシリテーターが先導する。 ・アンケート項目 <p style="padding-left: 40px;">グループ名、職種、研修の内容の満足度、時間設定（長い、短い4分類）、人生ファイルについての理解度、人生ファイルを利用したいか、人生ファイルの活かし方をどうするか、広め方、人生ファイルの疑問点・質問点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修開催日 <p style="padding-left: 40px;">令和5年1月20日（金）</p> <p style="padding-left: 40px;">令和5年3月10日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ、研修タイトルについて、よく考えたほうがよい。「最期まで安心して自宅で」では、よくわからない。

② 第1回開催に向けての不足事項について

人生ファイルを知ってもらっただけではなく、多職種連携を意識してもらおう。

模造紙を使い、発表する。

1枚の模造紙の中で内容を区切って発表。内容がバラバラにならないようにする。

③ 第2回開催に向けての検討について

・研修の方法（ロールプレイまたはワークショップ）

ポイントは、多職種連携になっていく。

第1回研修の同職種でまとめた意見を、第2回が多職種グループで話し合う。

職種、業種の違いと強み、弱みを発表するのはどうか。

多職種連携を意識することにつなげるようにする。

第2回目の発表は、第1回目の職種・業種の強み、弱みをまとめ、2回目の発表にいかす。

1回目、2回目の参加者が異なるため、1回目の参加者は、2回目の参加者に伝えておくことが必要となる。

課題数については、時間の制約により決まってくる。

研修の内容は、入院前、入院後の人生ファイルの書き換え、更新を設定していくのも良い。

人生ファイルを使ってよかったと思わせる方向に結論を持っていく。

今後、メールを流すので、研修についての意見を集約する。

【閉会】 19:15